

令和5年5月24日(水)18:30~19:30 新型コロナウイルス感染症対策研修会(オンライン開催) アンケート集計結果

【講師】

■朝霞保健所感染症担当 国枝 萩子 さん

■朝霞地区医師会理事(地域包括ケア支援室副室長)・まちだ訪問クリニック院長 町田 穰 さん

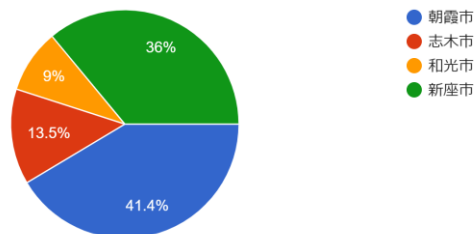
■申込者:244名

■当日参加者:126名

■アーカイブ再生回数:117回
(配信期間5/25~5/31)

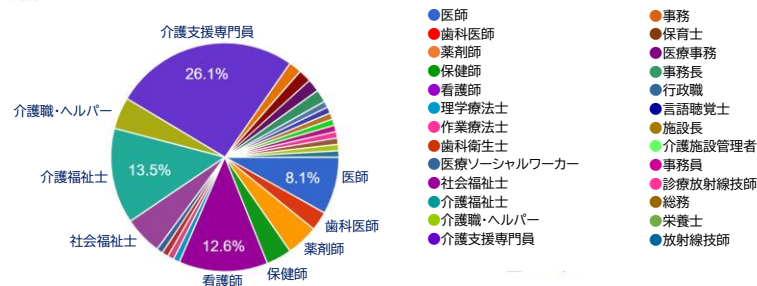
1. 所属の所在地を教えてください。

111件の回答



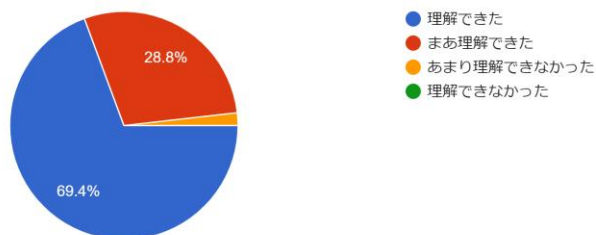
2. 職種を教えてください。

111件の回答



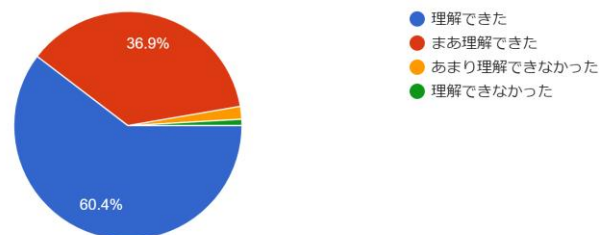
3. 保健所感染症担当 国枝氏の発表について

111件の回答



4. まちだ訪問クリニック 町田院長の発表について

111件の回答



5. 2名の発表者へのご意見、ご感想をお聞かせ下さい

- ・保健所、医師の意見を聞いて為になりました。
 - ・お疲れさまでした
 - ・資料がとても見やすいです。ありがとうございました。
 - ・分かりやすかった。話のトーン（声）が聴きやすかった。
 - ・大変参考になりました。自部署での感染対策のマニュアルに参考にしていきたいと思います。ありがとうございました。
 - ・周りの意見に流されず、自分自身で情報を掴み判断していきたいと思いました。
 - ・ご多忙にもかかわらず、丁寧なご説明をいただき、ありがとうございました。今後も情報収集に努めたいと思います。
 - ・参考になりました。ありがとうございました。
 - ・ゾーニングや理念など全ての原点に立ち返らせて頂きました。
 - ・ありがとうございました。
 - ・大変分かりやすくご説明頂き感謝しております。ありがとうございました。
 - ・分かり易かったです。
 - ・わかりやすい講義ありがとうございました。
 - ・コロナがなくなったわけではないので、私たちにできることは継続していきます。
 - ・厚労省、県からの発表及び、これまでの対応をご説明頂きありがとうございました。5類相当になったとはいえ、状況を鑑みながら対応していかなければならない時代になったと、感じました。
 - ・とても内容的に答えにくい研修だったと思われます。ありがとうございます。
 - ・対応については各々が基本に則り実施することが必要であることは変わらないということがわかりました。
 - ・国枝氏の発表は、わかりやすいものでした。町田先生の発表には、共感します。今まで現場で、大変苦勞した先生ならではの意見だと思います。
 - ・対応はインフルエンザと同様と考え、ただ、油断せずに高齢者の対応は慎重に行うよう心が手たいと思います。また、自分で情報をアップデートしていくことが重要ですね。
 - ・わかりやすかった。
- 時間が限られている中であつたにも関わらず、医療・介護従事者・その他の方にも理解しやすく簡潔にまとめられた内容であつたと思います。
- ・これからも、感染対策の基本を徹底しつつ、最新の情報を収集し、入所者様のケアを継続してまいります。本日は、ありがとうございました。

- ・気を緩めず、今日の内容を確認しながら業務に励みたいと思います。
- ・高齢者に対してはリスクがある為、今まで通り引き続き感染予防に努めます。
- ・とても分かりやすかったです。
- ・参考になりました。
- ・先生方、ご講演いただきましてありがとうございます。

国枝さんの資料、ご講演は大変わかりやすく、感染対策の考え方、ポイントを学ぶことができました。

町田先生のご講義は、他人事とはせずに、自ら調べ学び、対策を講じることについて、再確認させていただきました。

- ・分かりやすく良く理解が出来た。しかし、忘れていくでしょうが話を有意義に活かすように努力をしたい。
- ・情報を自分で取りに行きます
- ・個人的な意見のない的確な説明で方針は良くわかりました。町田医師は、理念に言及して私たちの積極的な努力を促してくださったと思います。

- ・本日は、研修会に参加させていただき、ありがとうございます。
- ・感染対策、いつまで続ければ...という、考えがありました。ウイルスは無くなるわけではありません！

というお言葉に、改めてまだまだ、感染対策が必要だと思いました。

- ・ありがとうございます。自分たちで情報を集め対応していく姿勢が大事だと学びました。
- ・資料も分かりやすく、ご説明も聞きやすく大変勉強になりました

特に町田先生のお話ははちよっぴりユーモアもあってとても聞きやすかったです

本日の講習内容を周知して、今後も油断せずに気を引き締めて頑張りたいと思います

- ・わかりやすくまとめていただきありがとうございます。医療機関や施設により対応が異なっているため、これからは各事業所の判断になるとは思いますが、まずは様々な情報をきちんと把握することが必要であると改めて感じました。ただ標準化されていないので非常に難しいと感じます。
- ・質問させていただきましたが、保健所の方に答えていただきたかったです。
- ・もう少し時間を取り質問の機会を取って頂けたらと思いました。
- ・医療従事者としてわかりやすい説明でした。お疲れ様でした。
- ・今日はありがとうございます。とてもわかり易くお聞きする事ができました。
- ・ご利用者様、職員を守る為にも、今まで以上に情報収集をしていかななくては行けないと、改めて正しく怖がりながら対応していきたいと思います。
- ・資料が整理されており分かりやすかったです。

- ・聞きやすく、かなり砕いてわかりやすくしてもらえた
- ・5類に移行したが、感染対策は継続していくことが重要であると再認識できました。
- ・ありがとうございました
- ・お忙しい中講義をしてくださりありがとうございました。現場にそった内容でとてもわかりやすかったです。
- ・国枝先生：5/8以降の変更点と、それに伴い我々高齢者施設がどのように感染対策を行っていくべきかが、とてもわかりやすく纏められており非常に参考になる内容でした。

町田先生：昨年10月、12月に施設内で起きてしまった2度のクラスター経験を活かし、5/8以降の感染対策をどのように行っていくか？また、マニュアルをどのように作成するか？を検討していたタイミングでした。先生がおっしゃった「画一的なマニュアルは難しい。自分達で考え判断していく」というお話はとても参考になりました。

- ・2類から5類に変わっても施設での対応は大きく変わらない事がわかりました。
- ・5類へ移行後の対応についても細やかな説明で解りやすかった。
- ・今後の業務に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・町田先生のお話は力強く、5類になったからこそその難しさが良くわかりました。自分たちの施設でどんなケアをしていきたいのか、基本に戻って考えることが必要と改めて意識しました。ぜひ紙資料で再読したいので、お願いいたします。
- ・5類に移行したからと言って、今までと対応は変わらず、むしろより対策を強化していく事でこれからもコロナと向き合う必要があるとわかりました。
- ・各施設で対応が違うが、正しい知識を持ち感染対策をしていくことが必要だとおもった。
- ・施設従事者として感染対策は引き続き行いながら、施設外の方やご家族と連携をとって行きたいと思いました。
- ・分かりやすくかみ砕いてお話しいただき、ありがとうございました。
- ・私自身も感染したことがありその辛さ、感染力をまのあたりにしました。まだまだ従来の感染症と一緒にではないと感じています。高齢者、疾病のある利用者に接する私たちはこれからも同じように対策していかなければならないと感じました。事業所としてもその都度指針を模索しながらケアにあたろうと思いました。
- ・丁寧な説明ありがとうございました。
- ・もう少し具体的な話があればよかった
- ・コロナ5類になっても介護職の対応はあまりかわらないように思いました。
- ・国としてコロナ者対応が変化しても医療現場では対応を前と変えず続けることが8波への対策になると思いました。
- ・5類への移行後の対応についてのご説明ありがとうございます。

6. 皆様の事業所での新型コロナウイルス感染症の体制について、不明な点がございましたら記載してください。

- ・基本予防策を徹底。陽性者はかかりつけ医へ相談するという事は分かりました。
- ・包括支援センターでは感染症に注意しながら、フレイル予防に努めています。 コロナ禍で皆さん、体力低下のフレイル状態です。宿主の体力アップを目指します。
- ・今までのようにして行くだけです。
- ・これからの対応について考えていきます。
- ・つど対応したいと思いますが、基本がわかり対応しやすくなりました。
- ・病院の受け入れ体制について5類になりかえって難しくなるのではないかと不安が残ります。
- ・濃厚接触者の廃止や療養期間が短縮になったが、高齢者などのハイリスク者には10日間うつさない努力をということ、日ごろの訪問などをどのタイミングまでしないほうがいいのかなど判断に悩みます。包括なのでヘルパー事業所のように必ずそこでいかないといけないものばかりではありませんが、緊急対応などもあり、そうなった場合に事業所としてどのようにしたらよいか迷う。
- ・コロナ陽性者に対し、自宅での介護サービスを行なった場合、感染対策したとしても、通常に介護サービスできるか不安で、サービス拒否する事業者も実際増えるのでは。
- ・今後、院内感染が起こった際、関わったスタッフのPCR検査が行政検査として行えると言うものを見ました。どのようにしたら宜しいでしょうか？
- ・認知症の方に対する対応、接し方について
- ・対策ができていると思うので、不明な点は特にありません。
- ・5類になる前同様の感染症対策を継続しています。
- ・不明な点というより、一点お願いがあるのですが？ 抗原検査の実施に関して、他施設ではどのような対応を行っているかを知りたいです。 入所、通所のご利用者様にどのような場面（発熱、咳、等）で実施しているか？を医師会様でアンケートのような事を実施して頂く事は出来ないでしょうか？ 例えば私共の施設では下記のような場面で抗原検査を継続しています。 1. 施設新規入所者様：ショートも含め、入所日～3日目まで実施 2. 通所利用者様：送迎時の検温で37.0°～37.4°Cの利用者様に対し、施設到着時に実施 3. 出入り業者様等：理容師さん、美容師さんはその都度。スポット的な工事等で終日施設内で作業したり、居室内へ出入りするようなケース。 4. 陽性者の隔離解除時（入所利用者様）、利用再開時（通所利用者様）、職場復帰時（職員）、等については、必ず抗原検査を実施し陰性の確認を行っています。

- ・アフターコロナ問題はこれから少しずつ出るのではないかと思っています
- ・糞口感染への対策が盲点であった、という意見を、最近よく聞きます。トイレの感染対策、一番気をつけるべきことがあれば、ご教授いただけると幸いです。
- ・5月8日以前と対応は大きく変わっていないので不明な点がありません
- ・ガイドラインに沿って、事業所での体制・対策等を考えていきたいと思えます。
- ・結局、各事業所ごとに体制を考えるしかないかなと思えますが、保健所などに相談できるパイプがあればよいのですが
- ・自分が感染した場合、潜伏期間の利用者へ、どのような対応をすべきか
- ・自分や家族が感染したときの対応(仕事に対しての)を事業所ではっきりと決まること
- ・特になし(4件)

7. 在宅医療介護連携事業に関する研修会で、取り上げて欲しい内容・テーマがありましたらご記入ください。

- ・明らかに精神疾患が疑われるが受診を拒否し適切な医療を受けていない方への対応
- ・フレイルについて
- ・看取りについての話を聞きたい。
- ・今のところ考えていない
- ・具体的な連携の仕方など
- ・ハラスメント対応について・訪問診療以外のクリニックや医療機関との連携について
- ・テーマ別事例検討会
- ・認知症の進行に応じた治療やケアについて。
- ・栄養摂取について
- ・なし
- ・高齢者の便秘 高齢者の乾燥肌 高齢者の四肢冷感 等
- ・特になし
- ・難病患者の基本、治療や進行の特徴等を学んでみたいです。
- ・ターミナルにおける、介護職としての注意しなければいけないこと・体調急変時の対応
- ・体調急変時の対応
- ・今後、またコロナが広がった時の医療の対応はどうなるのか？

問6 でのご質問の回答

■行政検査について（朝霞保健所より回答）

積極的疫学調査として保健所が必要と判断した場合のみ、行政検査を実施することとなります。
医療機関が独自に行う検査は対象外です。

■抗原検査の実施に関するアンケートについて

現状、医師会でのアンケート実施予定はございませんのでご了承ください。

■その他 基本情報について

「厚生労働省新型コロナウイルス感染症診療の手引き 第9.0版」をご参照ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf>